



2025 年 11 月 12 日

各 位

会社名 株式会社東陽テクニカ
代表者名 代表取締役 社長執行役員 高野 俊也
(コード番号：8151、東証プライム)
問合せ先 取締役 上席執行役員 松井 俊明
(TEL：03-3279-0771)

業績予想と実績との差異（上方修正）に関するお知らせ

2025 年 8 月 6 日に公表いたしました 2025 年 9 月期通期業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 9 月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|---------------------------|---------------|--------------|--------------|---------------------|-----------------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 32,000 | 百万円 1,500 | 百万円 1,500 | 百万円 800 | 円 銭 37.13 |
| 実 績 値（B） | 32,559 | 1,914 | 1,985 | 1,195 | 55.55 |
| 増 減 額（B－A） | 559 | 414 | 485 | 395 | |
| 増 減 率（％） | 1.7 | 27.6 | 32.3 | 49.4 | |
| （参考）前期実績 （2024 年 9 月期） | 35,042 | 3,366 | 3,375 | 2,522 | 112.95 |

2. 差異の理由

当期においては、世界的な建築資材価格の高騰や建設業界の人手不足により、国内外の顧客において製品納入先となる建屋および設備の工事遅れが散見されました。そのような状況下、先進モビリティ事業においては当期に売上を予定していた複数の海外大型案件がいずれも期ずれする見込みとなりましたが、そのうち 1 件の納品・検収を当期末に完了することができました。第 4 四半期においてはそのほかの事業も順調に推移した結果、売上高は前回予想値を上回りました。また、増収効果や販管費の抑制により利益も前回予想値を大きく上回りました。なお、遅延して期ずれとなった案件は来期以降の収益増加に貢献する見込みです。

以 上